

(単位:千円)

事業名	都市計画事務事業	充実	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	1,980		47		412	1,521
目 的 目 標	暮らしを支える基盤づくりと、快適な市民生活を実現する都市基盤の整備を進める。		(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			府	土地利用規制対策交付金		46		
			府	市町村事務委任交付金		1		
			480	使手	屋外広告物許可手数料 他			412
事業概要	宮津市都市計画道路見直し業務委託 事業費 1,500千円 平成18年7月に策定された「京都府都市計画道路網見直し指針」等に基づき、都市計画の変更手続きに必要な書類等の作成業務を委託する。また、「宮津市都市計画道路網検討委員会」を設置し、平成23年度に京都府が実施した交通量調査も踏まえ、本市の都市計画道路網の見直しについて検討を行う。		背 景 経 緯	本市の都市計画道路は、以前は人口の増加や市街地の拡大等を前提として、その後は大規模プロジェクト等に関連して都市計画決定されていた。近年では少子高齢化が進展し、人口や交通量の減少など社会情勢は大きく変化し、まちづくりの方向性もその収束傾向を踏まえたものに変化してきた。社会情勢の変化に柔軟に対応し、将来のまちづくりと整合した都市計画道路網の構築ためには速やかに都市計画道路の見直しが必要となったことから、「宮津市都市計画道路網見直し検討委員会」を設置し、検証する。				
	宮津市都市計画道路 11路線 ・宮津岩滝線 ・漁師波路線 ・須津野田川線 ・波路惣線 ・本町宮津停車場線 ・鶴賀宮津停車場線 ・島崎本町線 ・宮本鶴賀線 ・鶴賀宮村線 ・宮津港惣線 ・宮津停車場京街道線		期待される 効果	全域の総合性、一体性を確保する広域的見地から、都市計画道路の見直しの基本的な方針を定めることにより、地域の実情を十分に踏まえたまちづくりを推進し、合理的で効果の高いまちづくりを進めることができる。				
	<宮津市都市計画道路網検討委員会> 委員 10人程度(学識経験者など)		【みやづビジョン2011以外の計画】					
	都市計画道路とは、将来のまちの姿や市内全体の交通等を考えたうえで、まちづくりの骨格となるよう、あらかじめ位置や道路の幅等が決められた重要な道路のこと。		年度策定		計 画 期 間	年度まで		
	都市計画事務事業 事業費 480千円 都市計画審議会等都市計画に関すること。 ・宮津市都市計画審議会 1回開催		年度策定			年度まで		
	<宮津市都市計画審議会> ・委員 15人 (学識経験者5人・市議会議員4人・関係行政機関2人・京都府職員1人・市の住民3人)		年度策定			年度まで		
		【市民参加の状況】						
		【先進性】						
		担当室・係	建設室 まち景観係		TEL	45-1630		